

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【公表番号】特表 2002-532764 (P2002-532764A)

【公表日】平成 14 年 10 月 2 日 (2002.10.2)

【出願番号】特願 2000-588787 (P2000-588787)

【国際特許分類】

**G 0 2 F 1/157 (2006.01)**

**G 0 2 B 5/28 (2006.01)**

**H 0 1 J 29/89 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/72 (2006.01)**

**G 0 2 B 1/11 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 F 1/157

G 0 2 B 5/28

H 0 1 J 29/89

H 0 4 N 5/72 A

G 0 2 B 1/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 17 日 (2006.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 の外側主面と第 2 の外側主面とを含む反射率の低い高コントラストフィルタであって、

( i ) 該第 1 の外側主面を画成する反射防止用第 1 の手段と、

( i i ) 該第 1 の外側主面と該第 2 の外側主面との間に配置された可変減衰素子と、

( i i i ) 該可変減衰素子と該第 1 の外側主面との間に配置された固定減衰用手段と、

( i v ) 少なくとも 1 つの基材と、

を含み、該第 1 の外側主面に入射する光で測定すると可視光合計反射率が約 2 . 0 % 未満であるフィルタ。

【請求項 2】 第 1 の外側主面と第 2 の外側主面とを含む反射率の低い高コントラストフィルタであって、

( i ) 該第 1 の外側主面を画成する反射防止用第 1 の手段と、

( i i ) 該反射防止用第 1 の手段と第 2 の外側主面との間に配置され、屈折率の一致した層を含む可変減衰素子と、

( i i i ) 少なくとも 1 つの基材と、

を含み、該第 1 の外側主面に入射する光で測定すると可視光合計反射率が約 2 . 0 % 未満であるフィルタ。